

FIT留学インフォメーション・セッション 第3弾

ファッション・ビジネスにおける留学の意義

「グローバル人材」の必要性、重要性が多くの産業分野で叫ばれ、マスコミにも頻繁に取り上げられています。ファッションの分野でも、かつて欧米先進国からトレンドやビジネスの先端情報をいち早く入手する事が中心であった国際化は、今や世界全体に展開するグローバル・ブランドの確立やマーケティング、あるいは新興国における新規ビジネスの立ち上げ、といったダイナミックなものになってきました。「グローバル人材」が不可欠になっているゆえんです。しかしその反面、ここ何年か、海外に留学する日本人の数が減っているという現象が起きています。経済的理由などさまざまな要因があるとしても、日本の若者の間に「内向き志向」が広まっていることも指摘されています。

日本FIT会では、留学への希望を持ちながらも、さまざまな不安や留学する事の意義について確信がもてず、その一歩を踏み出せない若者のために、同じ悩みを経験しながらも留学に挑戦し、自らの将来を切り開いた最近のFIT卒業生を中心に、彼らがどのように不安を乗り越え、また留学によって何を獲得したのか、などについて語る場を設けることとなりました。

これまで少しでもFITへの留学を考えたことがある方々に、ぜひこの機会を活かしていただき、ご自身の将来に大きな転機をつくる留学に向けて、一歩を踏み出すきっかけとしていただきたいと思います。

日時

2014年7月12日(土曜日) 13:00～15:40 (12:30 開場)

会場

ハリウッド大学院大学 10階 105-106番教室
東京都港区六本木6-4-1 六本木ハリウッド ビューティープラザ
会場への地図は【www.hollywood.ac.jp/mba/access/】をご覧ください

プログラム

1 講演「私を起業させたFITでの学び」 13:10～13:55

講師：中野 和代 ※講師の経歴については裏面をご参照ください。

2 FIT卒業生によるパネル・ディスカッション 14:00～15:15

テーマ「私の留学前、留学中そして卒業後」

パネリスト：北村 文人 2000年 Display&Exhibition Designコース卒業
(株)ユニクロ グローバルマーケティング部
渡邊 真理子 2004年 Patternmaking Technology / Fashion Design コース卒業
AEONグループ 専門店事業 (株)コックス/ikkaMD
石川 直子 2010年 Fashion Merchandising and Management コース卒業
2013年 Advertising and Marketing Communications コース卒業
フリーランス翻訳者/ファッションコンサルタント
保田 優衣 2011年 Parsons, Fashion Marketing コース卒業
2014年 FIT Global Fashion Management コース進学予定
(株)ブルックスプラザーズジャパン/アシスタントバイヤー

※パネリストは、都合により変更になる場合があります。予めご了承ください。

3 Q&Aセッション 15:15～15:40

(時間はあくまで目安です)

参加費

学生 500円 一般 1,000円 (当日、受付にてお支払いください)

申込方法

info@fitkai.jp まで、お名前、所属学校名(または、企業名)、
連絡先(携帯電話番号可)をご記入の上、お申し込みください。

締切：7月10日受付分まで

※定員に達した場合は、お断りする場合がございます。※事前のお申し込みが無い方は入場できません。

講師経歴

(株)スリーワンセブンデザインズ 代表取締役 **中野 和代** Kazuyo Nakano

1400年以上の歴史をもつ奈良の神社で、和の伝統に囲まれて育つ。京都の和装袋物の製造業を営む父のもとで働くなど、バッグ作りの基本行程を早くから学ぶ。京都でテキスタイルデザインを勉強した後、'85年にイタリアへ渡り、ピエロ・グィディのアシスタントデザイナーとなる。

'87年、ニューヨークに移り住み、ダナ・キャラン、ロバート・リー・モーリス、カルロス・ファルチ、MAXX NEW YORK、シャリーフなど著名ブランドのハンドバッグ部門にて、デザイナーとして活躍する。同時にニューヨーク州立ファッション工科大学 (FIT) で専門知識を得る。'97年には、自身のブランド「KAZUYO NAKANO NEW YORK」を設立し、ノリータ地区にアンテナショップをオープン。バーニーズ、サックス・フィフス・アベニュー、ヘンリー・ベンデルなどの有名デパート、全米各地の専門店がクライアントとなる。また、イギリス／ハロッズ、中東、アジア／ジョイス等に市場を広げる。

事業拡張に伴い、'03年にNYのソーホー地区にショップを移転。'04年には、日本橋三越新館にアンテナショップをオープンし、伊勢丹、大丸、阪急など日本の有名デパートでも展開される。'09年 テレビ通販という流通経路を新たに開拓。日本の大手テレビ通販番組である「ジュピター・ショップチャンネル」にて、トータルファッションの提供を開始する。'12年、新しいブランド名 K. N. AguilerA を立ち上げ、高級爬虫類ハンドバッグの販売が日本でスタートする。

一方、'06年からはケニアを始め、貧困国で紛争と虐待にさらされる女性の自立支援活動にも積極的に取り組み、'10年よりは日本の次世代の起業家育成にも情熱を傾け、アメリカニューヨーク市立大学、FIT等で講演、日本各地でも講演セミナーを開催し始める。

'12年には、その30年に渡る海外生活とビジネス経験を活かし日本企業の海外市場への進出をサポートする事業部を設立、ニューヨークをベースに世界市場の現状とニーズの正確な把握を起点に新商品開発、海外市場展開のサポートを多種多様な会社に提供、'13年には独立行政法人中小企業基盤整備機構の海外市場開拓アドバイザーに認定される。

現在、ニューヨークマンハッタンに住み、USAと日本を拠点に活躍中。



Fashion Institute of Technology (FIT)

ファッション業界のプロフェッショナル人材育成教育機関として1944年創立。その後ニューヨーク州立大学になる。現在は、ファッションおよび関連分野における、デザイン、テクノロジー、ビジネスの多様なプロフェッショナルを養成する総合大学。コースとしては、2年制・1年制準学士(A.A.S.)コース、4年制学士(B.F.A./B.S.)コース、修士(M.A./Professional Studies/Fine Arts)コースがあり、アパレル、小売、テキスタイル、インテリア、コスメティックス、広告、美術、玩具などの専門分野をカバーする45以上のプログラムを提供している。マンハッタンを中心に立地、「マンハッタン全体がキャンパス」を合言葉に、ビジネスの現場に密着した「実学」の教育に力を入れている。全日制学生数1万人以上、夜間や短期集中講座を含む2万人以上が学ぶ。日本人をはじめ海外からの留学生も多い。

<http://www.fitnyc.edu/>

日本FIT会 会長 **尾原 蓉子** Yoko Ohara

日本に初めて「ファッション・ビジネス」の言葉と概念を、1968年に訳書『ファッション・ビジネスの世界』により紹介したことがきっかけで、以来、ファッション産業発展への貢献と人材育成をライフワークとしている。旭化成出身。財団法人ファッション産業育成機構IFIビジネススクール設立にも貢献。学長を10年務めた。東京大学卒。FIT (FBM専攻) およびハーバード・ビジネススクールAMP卒。FIT「生涯功労大賞」、「毎日ファッション大賞・鯨岡阿美子賞」、また「ハーバード・ビジネススクール・ビジネスマン/ウーマン・オブザイヤー」を、日産自動車社長カルロス・ゴーン氏とともに受賞。2014年6月、一般社団法人ウィメンズ・エンパワメント・イン・ファッションを設立、初代会長に就任。



日本FIT会

FITのいずれかのコースを卒業あるいは在学の経験がある個人を中心に、会の活動に協力・支援等をいただいている個人、企業を賛助会員とする同窓会組織です。詳しい会の活動等に関しては、<http://fitkai.com/> をご覧ください。

FITおよびParsons大学院への留学を希望する方は、

ユニクロ奨学金に関する情報を、日米カウンスル「TOMODACHI-UNIQLO フェロウシップ」のサイト <http://usjapantomodachi.org/ja/programs-activities/tomodachi-uniqlo-fellowship/> でご覧いただけます。